

## 友和小学校

【教科】総合的な学習の時間

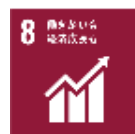
【学年】第5学年

【育成を目指す資質・能力】思考力・判断力・表現力

単元名

「ふるさとを元気にしようプロジェクト」  
～ふるさと未来かがやき隊～

【関連のある SDGs の目標】



## 【単元の目標】

自分たちの住む地域の産業について探究的な学習を通して、地域活性化に携わる人々の思いや願いに気付くとともに、地域の未来のために自分たちにできることを考え実践しようとする態度を育てる。

## 【連携諸機関・人物】

- ・友和地区コミュニティ推進協議会
- ・友和小学校 PTA
- ・友和小学校見守り隊

## 活動の概要

・本校第5学年がこれまで行ってきた学びの足跡をたどり、「人にとってふるさととはどのようなものなのだろう。」という本質的な問いを考えることをきっかけにして、課題を設定していった。友和地区コミュニティ推進協議会の「竹炭名人」の方から、地域の産業の歴史について詳しく話を聞くことを通して、情報収集し、地域産業の問題点の解決に向けて具体的な学習計画を立てた。実際に「竹炭作り」を体験し、地域産業の発展には、地域の課題に目を向けることが大切であることに気付かせる工夫をした。また、整理・分析したことをまとめることを通して、地域の発展のために自分たちができることに対して考えを深めていった。

## ★アピールポイント★

- ・活動の特色 ・授業展開や学習形態、教材等の工夫 ・地域人材、財産等の活用
- ・児童の心を揺さぶる仕掛け ・他教科等との関連 ・ICTの効果的な活用 等

- ・導入の段階で、地域のコミュニティ推進協議会が作成した動画を見たことによって、児童の関心を高めることができた。
- ・これまで引き継がれてきた「竹炭作り」の学習をきっかけにして、本質的な問いから、単元計画の構想を立てることができた。
- ・全体の問いを解決していくと同時に、個別の問いに対する考えを深めていけるように発展させていった。
- ・地域のコミュニティの方々との関わりをもつことを通して、児童自身が課題を自分事として捉え、「自分たちの育ったふるさとがいつまでも輝き続けてほしい。」という思いや願いをもてるような活動を工夫した。



【竹炭名人から話を聞こう】

## 児童生徒の姿（○）、振り返り（◇）

- 自分たちの地域の課題に対して関心をもつことができるようになった。
- 過去・現在・未来のそれぞれの視点から、ふるさとに対する考えを深めようとする姿が見られた。
- 地域の産業の歴史に関心を寄せ、地域のコミュニティの方々とのふれ合いを通して、自分たちのふるさとを守る活動の意味を理解し、人にとって「ふるさと」とはどのようなものなのか考えを深めていく姿が見られた。



【竹炭作りの体験】

◇1年間の学びをリーフレットにまとめる活動を通して、自分たちの地域の課題に目を向け、地域のすばらしさを伝える活動をしている人々の深い思いや願いに気付くとともに、未来のふるさとのために自分たちにできることを実践していきたいと振り返ることができた。